

地区会議のご意見への対応案【背割堤地区の例】

	ご意見	項目	対応案
1	縦長の地形をどううまく利用するかが重要であり、この地形を生かすようにすべき	ゾーニング計画	背割堤地区公園整備計画案において、宇治川と木津川に挟まれた立地、桜並木、先端部の自然環境を活かしながら、御幸橋上流部にセンター施設等の拠点づくりを行うゾーニング計画を検討します。観光、散策、サイクリングなど利用状況やニーズを踏まえて検討します。
2	多くの地域に触れる立地→整備次第で色々な地域からの集客が見込まれる		
3	エリア的に交流エリア、自然保護⇄交流、自然保護エリア		
4	整備計画について（アドベンチャーエリア、冒険エリア、交流エリア、自然エリア）		
5	利用者はだれか？を考えた公園づくりをしてほしい		
6	自然を残すエリアとイベント等で利用するエリアをわける	環境保全	これからの淀川河川公園では、河川の自然環境の保全と利用の調和を図ることを整備方針としています。背割堤地区公園整備計画案では、先端部の豊かな自然環境にふれあえるよう散策路の整備を計画しています。当初計画では先端まで整備を行う計画としていましたが、地区会議等のご意見をふまえ、保護エリアと自然とのふれあいのエリアを区分し、より環境負荷の低い散策路の整備を検討します。
7	「人工的でない」自然が多く残っている部分。整備を進めるときもその部分は残すべき		
8	必要以上手を入れず、散策路程度であまり開発はしないほうがよいと思う		
9	伐採後のルート管理（外来植物が入ることによる植生の変化）		
10	先端については今のまま自然を放置でよいのでは？		
11	自然を失わない整備が可能か		
12	雄大な土地に、自然（動物、植物）が感じられる		
13	先端へのフットパスについて草刈を数回成長期に行う。自然負荷と利用のかかわり		
14	誰でも入れるようにして現状の保護が可能か？		
15	エリア的観点から、自然保護、ふれあい、交流		
16	保護することにより人が集まる。地域の誇りであってほしい		
17	水辺にヨシの群生地等をつくり魚等呼び込む	水辺とのふれあい	これからの淀川河川公園では、淀川の自然環境の中で親しみ、憩う場をつくることを整備方針としています。背割堤地区公園整備計画案において、比較的水深が浅く安全な木津川で水辺とのふれあいができる親水エリアの確保を検討します。河川に立地する公園として、利用者には一定の自己責任が伴うという原則のもとで、安全で快適に利用できる整備と管理、利用ルールについて、地域協議会等の意見をふまえながら検討を進めます。
18	子供が水遊びできる場所がほしい（昔のように水泳が出来れば尚良い）		
19	川への親水化の対応		
20	子供たちの安全を守りながらの水辺遊びの場		
21	水面（自然）を見渡せることの意義		
22	堤として、水面の整備		
23	整備計画では水遊びはどうなるのか？		
24	希少生物についての見学会や講習会を開く		
25	鳥もいるのでバードウォッチングができるような施設の配置		
26	眺望の確保（交野の星のブランコみたいなもの）、対岸との交流	眺望	背割堤地区公園整備計画案において、背割堤の下流部で大山崎市と八幡市が見渡せる眺望を確保するとともに、周辺の景色の案内板を設置するなど地域の自然・歴史文化の情報発信を検討します。
27	大山崎と八幡が見渡せない		

背割堤地区

	ご意見	項目	対応案
28	先端サークルの魅力の創造（1.4km先の喜び）	先端部	背割堤地区の先端部では、ノウルシなど貴重な動植物が生息、生育する多様な自然環境があることから、環境を保全しながら利用者が散策、自然観察ができる場としての活用を検討します。このため、イベント会場や駐車場の確保は環境保全の点で上流部の御幸橋付近に集約し保全と利用の調和した公園づくりを目指します。
29	先端部の自然を植物園的に位置づけて活かす		
30	先端に展望台がほしい		
31	電気を先端までつけてほしい		
32	イベント会場を先のほうにつくっては？		
33	駐輪スペースがあればよいのではないかな？		
34	SCを設置なら「道の駅」のような立ち寄り易さを前提に三川合流域や周辺地域の情報発信の場となってほしい	サービスセンター(SC)	三川合流部のサービスセンターは公園の利用案内・調整だけでなく、三川合流域の地域交流の拠点として機能することが期待されています。背割堤地区公園整備計画案において、三川合流部の歴史や自然環境、観光資源など地域の魅力の情報発信を行うことを位置づけます。また、地域交流イベントなどの開催を支援するための機能、備品等についても順次検討を進めます。なお、建築物は河川敷内には設置できませんので、御幸橋上流部への設置を予定しています。
35	SCでの背割堤とも連携強化、情報発信		
36	SCに八幡市の魅力についての説明を置いてはどうか		
37	たくさんの市民に足を運んでもらえるかが課題（SC）		
38	SCを利用する人の流れを考慮する必要がある		
39	SC利用の自由度を高める		
40	SCと公園のつながりが悪いので改善を		
41	イベント用にテント等の保管倉庫が欲しい		
42	荷物を運ぶもの（リヤカー、電気自動車など）		
43	SCは先端にあるべき		
44	物販所でNPO等が制限なく利用できる	地域産品等の物販	背割堤地区公園整備計画案において、サービスセンターで地域産品の紹介、物販ができるスペースの確保等を検討するとともに、運営主体について地元自治体など関係者と検討を進めます。
45	八幡名物が買える施設		
46	物販なら地元、観光案内をしたい		
47	研修スペース、道の駅、交通スペースなど（農作物直売）をしてはどうか？		
48	桜の時期、市民団体が自由に模擬店が出せるスペースがあればよい		
49	SCにバス停の設置ができるとよい	バス停	背割堤地区公園整備計画案において、サービスセンター設置予定地にイベントなどで利用可能なバスの停留スペースの確保を検討します。
50	バス停がない。SCに整備されないか		
51	SCでの自転車の貸し出しをしてみてもどうか？	サイクリング	背割堤地区公園整備計画案において、サービスセンターにおけるサイクリング利用者の拠点となる機能を検討します。レンタルサイクルについては、周辺の実施状況等をふまえてニーズと可能性を検討します。
52	SCでレンタサイクルをすれば利用があるのではないか		
53	八幡市側からの歩行者アクセスの安全の確保（現在でも非常に危険と感じる）	歩行者の安全	背割堤地区公園整備計画案において、御幸橋の橋下を活かしてサービスセンターと背割堤を車道を横断せず安全に行き来できる園路の整備を検討します。
54	サービスセンターの設置に対し、交差点での人の往来等交通の安全性の確認		

背割堤地区

	ご意見	項目	対応案
55	子供たちが遊べる空間が必要	子どもの遊び場	これからの淀川の河川敷利用は淀川水系河川整備計画に基づき、川らしい利用を促進することとしています。淀川を活かした水辺や自然とのふれあい、広場で創意工夫して遊んでいただけるような公園づくりを目指します。河川敷への遊具の設置は洪水時の支障となるため、新設は行わないこととしていますのでご理解をお願いします。
56	子供が安全に遊べるスペースがほしい		
57	子供がもっと行きやすい場所になればよい。遊具等又はスポーツ遊具の設置		
58	子供たちが遊ぶ遊具がほしい		
59	運動公園としてのサッカー、野球ができる場所	運動施設	これからの淀川の河川敷利用は、淀川水系河川整備計画に基づき、河川環境の保全・再生、川らしい利用の促進のため、運動施設など本来河川敷以外で利用する施設については縮小することを基本としています。今後は、淀川の自然とのふれあいや多目的な利用ができる広場の整備を進めていきますのでご理解をお願いします。
60	ボート乗り場が整備されないでしょうか	船着場	背割堤地区公園整備計画案に船着場の整備は含まれておりませんが、舟運活性化の取り組みとして設置の可能性を検討します。現在は三川合流部から枚方までの水深が浅く、航路が確保できていませんので、当面は伏見から三川合流部の舟運の可能性等について関係自治体や民間事業者と検討を進めます。
61	宇治川に30石舟の乗り場		
62	カヤック基地（カヌー基地）がほしい	水面利用	背割堤地区公園整備計画案において、親水空間の整備にあたっては、カヌー利用者が水辺にアクセスしやすい環境づくりを目指します。
63	バーベキューエリアの拡大について反対である→ゴミ問題について有料化にしては？	バーベキュー	バーベキューエリアの拡大については、自動車での利用者はゴミの持ち帰りができていることから、駐車台数を超えない範囲でエリア設定を検討します。有料化については、河川敷でその料金徴収を実施するための施設整備やスタッフ配置が困難なため、マナーやゴミ問題が発生する地区については、エリア設定の見直しなど改善策を検討します。
64	BBQエリアの拡大についてゴミ捨てやマナーの悪さを考慮したうえ、どの程度が適しているか		
65	駐車場の拡大（イベント時など）	駐車場	淀川河川公園の駐車場については、河川環境の保全の観点から、各地区の利用状況をふまえ、必要最小限の配置とする必要があります。背割堤地区では桜まつりの全利用者に対応できる駐車場の確保はできません。通常の休日利用では十分な駐車台数が確保できていますので、現時点で拡大は予定していません。今後、サービスセンター設置などにより利用者数が増加した場合は適切な駐車台数の確保を検討します。
66	駐車場の整備		
67	公園までの交通手段と、駐車場の整備が必要		
68	駐車場は特定の人だけでも利用できるもの		
69	駐車場がよくない		
70	駐車スペースを増やしてほしい		
71	車で行ける道と駐車場の拡大（先端部まで車で入れるように）		
72	駐車場、トイレ、堤と水面		

背割堤地区

	ご意見	項目	対応案
73	トイレの水洗化と4箇所くらいに設置をしてほしい	トイレ	現在、背割堤地区にはトイレが3箇所設置されています。先端部へのトイレの設置は洪水時の撤去が困難なため、上流の駐車場周辺に設置していますのでご理解をお願いします。今後は背割堤地区公園整備計画案において、洪水に支障のない箇所で、だれもが利用しやすい水洗トイレの設置を検討します。
74	アメニティの向上（入り口と園内に水洗トイレ、S.C、先端部分）		
75	トイレの設置をしてほしい		
76	不特定多数の人が利用する→トイレ、安全面での問題、ゴミの問題		
77	トイレの設置には景観や場所の配慮が必要		
78	最低限の利便性（トイレ、電気）		
79	トイレの数が少ない		
80	先端には広場、自然はあるが、トイレがない		
81	トイレがない（先端までいくともどれない）		
82	手洗い場が欲しい	手洗場	現在は散水用の水道を手洗場としてご利用いただけます。背割堤地区公園整備計画案において、水洗トイレの設置等と併せて使いやすい手洗場の設置を検討します。
83	手洗い場がない		
84	3箇所くらいに（解説の）サインの設置（が必要）	案内板	公園の案内、地域の自然・歴史などの情報発信のための情報案内板等について、各地区の状況をふまえ、計画的に設置、更新を検討します。
85	木津川、宇治川の性格の違いが発見できるような工夫がほしい		
86	三川がわからない		
87	希少種等の案内図を置いてはどうか？		
88	希少な動植物がいることがわからないのが残念だ		
89	入り口とその場所に動植物の案内板の設置をしたほうがよい		
90	先端部の開発でなるべく人の手で荒らさないような看板等の設置		
91	歴史ボードみたいなものがあればよい		
92	親水空間に利用を高める為の看板（自然のこと、利用マナーなど）		
93	歩道等が凸凹しており、路面整備が必要	バリアフリー	背割堤地区公園整備計画案において、背割堤遊歩道をはじめ、サービスセンターから背割堤までの園路のバリアフリー化を検討します。また、自転車と歩行者の安全確保のための利用ルールを地域協議会等で検討します。
94	路面のでこぼこがあり、ベビーカー、自転車はやや走りづらい		
95	車椅子の方でも下に降りてこられるような道を作る		
96	バリアフリー。上の道は自転車で通行しない、など。		
97	園路のバリアフリー、ベビーカーや車椅子が安心通行できる道		
98	高齢化社会にあわせて人に優しい（バリアフリーなど）公園を		
99	季節を感じる植物を植える	植栽	これからの淀川河川公園では、河川環境の保全・再生を進める観点から、緑陰のための植樹等を除き、本来河川敷に生育しない植物の導入は極力行わないこととしています。淀川の自然の四季を感じ、ふれあえる公園づくりを進めますのでご理解をお願いします。
100	水仙など特定の植物を集中的に植える→観光につながる		
101	ハーブ畑が欲しい（BBQのおい消しに）		
102	桜並木の手入れ。植え替えて植えつくまで年数がかかるのなら早期着手が望ましい	桜並木	背割堤地区公園整備計画案において、桜並木の計画的な植え替えの実施を位置づけます。植え替えにあたっては、地域協議会等で市民参加による取り組みを検討します。
103	桜が老朽化しているなら通り抜けのような形で色々な種類の植樹をしてはどうか？		

背割堤地区

	ご意見	項目	対応案
104	先端に橋を作って車で行けるようにしてほしい（三川をつなぐ）	架橋	三川合流部に橋梁を設置することは、洪水時等で川の流れの阻害になる可能性があります。現在も三川で治水対策を実施中であることから、今後5年を目途に整備を行う背割堤地区公園整備計画案では検討対象にできませんのでご理解をお願いします。
105	第二流れ橋		
106	季節の変わり目には何をやるか？	利用促進	背割堤地区の利用者は年間約30万人のうち、およそ3分の2にあたる約20万人が春の桜まつりに集中しています。一年を通じてご利用いただけるよう、水辺とのふれあい、自然観察、地域の情報発信の場の創出、サービスセンターの設置などにより魅力を高める公園づくりを検討します。
107	四季を通じての来園対策が必要だ		
108	桜の時期か初夏までの人の多い時期とそれ以外の閑散期の管理、センターの建設場所		
109	地元の利用が出来易いようにしてほしい		
110	利用団体、地域住民が協働してこの河川公園の情報発信をしていくべき	地域参加	淀川河川公園の魅力や参加の取り組みについて、地域協議会をはじめ利用団体や地域住民等と協働で情報発信に努めます。背割堤地区では、サービスセンターにおいて公園と地域の情報発信の拠点としての機能を検討します。
111	水制工による安全管理	安全の確保	河川に立地する公園として、利用者には一定の自己責任が伴うという原則のもとで、安全で快適に利用できる整備と管理、利用ルールについて、地域協議会等の意見をふまえながら検討を進めます。
112	安全に遊べるように継続的管理が必要		
113	マムシ、転落防止などの安全面はどうか？		
114	犬、こどもの遊び場が同じ空間になっているので、衛生面、安全面での課題はないか		
115	毛虫等についての問題対策	維持管理	桜並木の毛虫対策については、毎年春・秋に毛虫が発見されれば消毒を実施しています。公園区域では、バーベキューエリア以外での火気の使用は禁止していますが、巡視により不審火などの迷惑行為の防止にも努めます。
116	不審火などがないように管理する必要がある		
117	樹木について、今は切りすぎていると思う。緑陰のために残してほしい	河畔林	水際の樹木は川の流れの阻害になり、河川管理上問題があることから伐採を進めています。背割堤の桜並木については、見通しの確保など必要最小限の伐採に留め、緑陰の確保にも配慮します。
118	橋げたの下部利用	橋下の活用	橋下は公園の区域ではありませんが、橋梁と河川の管理に支障が及ばない範囲で休憩等に利用できます。背割堤地区では、御幸橋の橋下を活かしてサービスセンターと背割堤を安全に行き来できる園路の確保を検討します。
119	運動公園と併せた施設利用の仕方（駐車場等）がいいのではないか	隣接公園との連携	桜まつりや地域交流イベントなど多くの利用者が訪れる際は、八幡市のご協力を得て隣接するかわきた運動公園を臨時駐車場として利用しています。今後も地域活性化の行事等において連携していきます。

※ 対応案は平成23年8月末現在の案です。地域協議会等の関係者調整、治水、環境等の技術的検討により変更となる可能性があります。

地区会議のご意見への対応案【島本地区の例】

	ご意見	項目	対応案
1	整備計画の策定にあたっては、現状の利用実態を踏まえて見直しを行うことが必要と考える。(さらに親しみやすい公園として)	ゾーニング計画	島本地区は、開園面積39,000㎡の敷地内に多数の運動施設を設置しています。野球場やサッカー場は週末を中心によく利用されていますが、ゲートボール場はほとんど利用がない状況です。このため、島本地区公園整備計画案では、公園施設の再配置をきっかけに利用率の低い運動施設を一部廃止して、環境を保全しながら散策や自然観察など川らしい利用ができるよう、園路や広場、親水空間の整備を検討します。
2	名水の島本としては、環境保全が一番必要		
3	グラウンドと河川との間の整備が必要(連続性のある活用策として)		
4	ゾーニング計画については積極的に推進してほしい		
5	川に親しむ基本は正しいので更に長期の展望をもって費用を要する計画にも取り組んでほしい	水辺とのふれあい	島本地区公園整備計画案では、親水空間の整備を検討します。河川敷から水面まで高低差があることから、利用者の安全に十分留意しつつ、水辺とのふれあいの場を創出する方法を検討します。
6	淀川の水辺まで行って遊べる「水辺公園」をつくってほしい		
7	水辺近くの整備はどの様になっているでしょうか？水辺に安全に近付けるような計画		
8	川辺での遊びが楽しめるように整備が進んでほしい		
9	水辺に近づきにくい(近づきたい)		
10	水辺を散歩できるように遊歩道を作ってほしい	景観・歴史	島本地区公園整備計画案では、三川合流部の自然や歴史が感じられる眺望広場の整備を検討します。また、地域の歴史文化資源を紹介する案内板の設置も検討します。
11	三川合流の魅力(展望台の設置などでもっとアピールすべき)		
12	良好な自然環境があり整備することにより、より親しみのある空間として活用できる		
13	歴史の古い地域であるため、川を話題とすることで地域に関心が持てる		
14	周辺の歴史文化資源で活かす	野球場	これからの淀川の河川敷利用は、淀川水系河川整備計画に基づき、河川環境の保全・再生、川らしい利用の促進のため、運動施設など本来河川敷以外で利用する施設については縮小することを基本としています。一方で、多くの方に運動施設をご利用いただいている状況をふまえ、自治体の施設整備や利用状況等をふまえて検討を進めることとしています。島本地区の野球場は利用率が高く、周辺市街地の施設数も不足しているとのことをご意見をふまえ、外野を縮小することで環境保全に配慮した野球場の再配置を検討します。
15	(整備計画の少年用野球場は)一般用の野球場の広さが確保できないか(→広く)		
16	グラウンド利用について、大人用がなくなるが南北に一面取れるのではないのか		
17	できればスポーツ施設の縮小は避けて欲しい		
18	現在の少年野球のホームベースの位置(現在、午後になるとレフトセンターが太陽で眩しいのでは?)		
19	野球場とラグビーサッカー場はできるだけ残すべき(→利用数は全体で約68,000人、野球15,200人、サッカー12,000人)		
20	野球場のひとつは(半部を)庭園に。年寄りと子連れの施設にしてはどうか？		

島本地区

	ご意見	項目	対応案
21	運動等の動的な施設から、鑑賞等の静的な施設へのシフト	運動施設	これからの淀川の河川敷利用は、淀川水系河川整備計画に基づき、河川環境の保全・再生、川らしい利用の促進のため、運動施設など本来河川敷以外で利用する施設については縮小することを基本としています。今後は、淀川の自然とのふれあいや多目的な利用ができる広場の整備を進めていきますのでご理解をお願いします。
22	野球場の現状(地元の意見)、一般の方はあまり使っていない		
23	少年(野球)も小学校の校庭で土日開放されるのでここは練習用のようだ		
24	スポーツ施設の利用者が多い		
25	子供がローラースケートで遊べる場を整備してほしい		
26	現在の河川公園には一般町民、子供連れが遊び寛げる場所がない、多目的ゾーン設置が必要	多目的広場	島本地区公園整備計画案において、地域の方が憩いの場、散策や自然観察、地域行事など多目的に利用できる広場の整備を検討します。
27	多目的広場への転換は利用者が増えるのではないか。周知してほしい		
28	地域住民が自由に利用できる公園にしてほしい		
29	一般(親子連れ)の人が利用しにくい公園になっている		
30	弁当を広げて食べるスペースの確保(休憩スペース)		
31	年長者も利用できるグラウンドゴルフの設置をしてほしい	グラウンドゴルフ	島本地区公園整備計画案において、サッカー・グラウンド場の緑化と併せて、グラウンドゴルフなど多様な用途で使用できるよう運用の見直しを検討します。
32	グラウンドゴルフ場の設置をしてほしい		
33	テニスコートはオムニ仕様にしてほしい	テニスコート	これからの淀川の河川敷利用は、淀川水系河川整備計画に基づき、河川環境の保全・再生、川らしい利用の促進のため、運動施設など本来河川敷以外で利用する施設については縮小することを基本としています。テニスコートについても利用状況をふまえて段階的に縮小を検討する必要があるため、仕様変更などのリニューアルはできませんのでご理解をお願いします。
34	淀川河川公園への案内看板設置をするべき。入り口にもっとPRを。	案内板	公園の案内、地域の自然・歴史などの情報発信のための情報案内板等について、各地区の状況をふまえ、計画的に設置、更新を検討します。
35	自転車(道のルート)案内		
36	「ここから淀川」という「記念碑」をつくってみてはどうか？		
37	眺望広場、親水空間での看板について、魅力や安全注意を伝える看板が必要かと思います		
38	内容が貼り替えられる(管理上移動ができる)看板があれば、公園利用者が便利に感じるかと思います		
39	小鳥や花の名前を書いた看板を置いてはどうか？		
40	公園への入り口サインを国道171号からわかるように設置しては？		
41	駐車場を狭くしないでほしい	駐車場	淀川河川公園の駐車場については、河川環境の保全の観点から必要最小限の配置とする必要があります。島本地区の施設再配置にあたっては現在の駐車台数を確保します。スポーツ大会等に対応した駐車台数の確保はできませんので、利用団体には乗合いによる台数減や公園以外で駐車場確保に努めるよう指導します。
42	駐車場の充実(台数が少ない)		
43	駐車場の再整備(台数が少なすぎる、幅が狭いので使用できない)		
44	駐車場が狭い		

島本地区

	ご意見	項目	対応案
45	トイレ設備の充実(現在使われている設備は余りにもお粗末)	トイレ	三川合流部は河川敷が浸水する可能性が高く、洪水時に施設の撤去が必要となりますので、治水の観点から移動式の簡易なトイレを必要最小限の設置することしかできません。島本地区公園整備計画案では、河川敷外で水洗トイレの設置の可能性を検討します。
46	トイレの整備		
47	トイレの設置		
48	バーベキューなどが出来る区域を設けてほしい	バーベキュー	島本地区公園整備計画案では、新たに整備する多目的広場の一部でバーベキューエリア設定を検討します。
49	バーベキューの楽しめる設備		
50	木陰となる植木(高木)を設置してほしい	日陰	島本地区公園整備計画案において、河川管理上支障のない範囲で高木の植栽による日陰の確保を検討します。
51	緑地がほしい。樹木がないと真夏には暑くて大変である		
52	日陰の家、景色を楽しめる「あずまや」やベンチなども欲しい		
53	お年寄りへの配慮に、より重点を移すようにしてほしい	高齢者への配慮	島本地区公園整備計画では、野球場やグラウンドなど単一目的の運動施設を縮小し、散歩やウォーキングなどで高齢者の方も利用しやすい園路や広場の整備を検討します。また、各地区のアクセスで問題がある箇所については、改善方法について沿川自治体など関係機関と協議します。
54	お年寄りが公園に行きやすい道の整備		
55	ベンチを多くしてほしい	ベンチ	島本地区公園整備計画案では、眺望広場の整備にあたって、ベンチなど休憩施設の設置を検討します。
56	グラウンド周辺に草花を植えてはどうか	花壇	これからの淀川河川公園では、河川環境の保全・再生を進める観点から、緑陰のための植樹等を除き、本来河川敷に生育しない植物の導入は極力行わないこととしています。淀川の自然の四季を感じ、ふれあえる公園づくりを進めますのでご理解をお願いします。
57	堤防公園も整備対象に(団地側、スーパー、階段上)	堤防上	堤防上の公園整備については、島本地区公園整備計画案では、水洗トイレの設置、管理所の移設を検討します。その他の施設整備については、堤防強化の進捗状況をふまえて今後検討します。
58	堤防上のマンションの前の公園に、日陰用の大きくなる木を植えてほしい		
59	堤防上のウォーキングコースの整備		
60	各スポーツをするための更衣室、および休憩室等の設置	その他施設	これからの淀川河川公園では、川らしい利用を促進することとしています。また、河川敷への施設の設置は洪水時の支障となるため、管理所、トイレ以外の建物や遊具等の新設は行わないこととしていますのでご理解をお願いします。今後は淀川の自然とのふれあいや多目的な利用ができる広場で工夫して遊んでいただけるような公園づくりを目指します。
61	多目的広場に健康器具を設置してほしい。住民全体の利便性向上となる		

島本地区

	ご意見	項目	対応案
62	堤防の上から河川公園におりる階段が少ない	アクセス	堤防への階段設置は、洪水時に支障が出ないよう必要最小限に留める必要があります。現在、島本地区では階段を2箇所、斜路を1箇所設置しており、増設は困難ですのでご理解をお願いします。
63	アクセス通路付近の草地(土のところ)はどんなプランがあるのですか？		
64	避難場所の整備	防災	島本地区は島本町の広域避難場所に指定されています。災害時の避難に支障のないよう適切な整備・管理を行います。
65	舟運の活性化、災害時の対応として周辺地域での船着き場の整備が必要でないか？	船着場	現在は三川合流部から枚方までの水深が浅く、航路が確保できないため、現時点では島本地区で船着場の設置はできません。淀川水系河川整備計画に淀川河口から伏見まで航路確保の検討を位置づけていますので、舟運活性化の取り組みとして、上流部の航路確保方策と併せて船着場の必要性も今後検討します。
66	対岸に渡る橋架け(島本町から背割堤地区へ渡る橋)	架橋	三川合流部に橋梁を設置することは、洪水時等で川の流れの阻害になる可能性があります。現在も三川で治水対策を実施中であることから、今後5年を目途に整備を行う島本地区公園整備計画案では検討対象にできませんのでご理解をお願いします。
67	対岸への交通手段がほしい。橋の設置、渡し舟など		
68	地元団体が利用し難い状況である(抽選倍率が高い)	施設利用	淀川河川公園は、大阪府、京都府をはじめとして広く近畿地方にお住まいの方が利用される公園として整備、管理運営しています。このため、料金や予約方法は公平性の観点から、統一的な運用を行っていますのでご理解をお願いします。受付場所については、背割堤・三川合流部で計画の中新たなサービスセンターで施設予約ができるよう検討します。
69	施設の予約を容易にしてほしい		
70	使用の申し込みが誰でもわかりやすいようにしてほしい		
71	使用方法等の表示をアナログなやり方にしてほしい。自然な口コミを大切に(ネット予約ではなく、わかりやすく)		
72	スポーツを行うのに申し込み先(管理事務所)が遠方の為に使いづらい		
73	料金(使用料)を安くするか見直しが必要である	利用料金	淀川河川公園の運動施設の利用料金は、周辺の類似施設を参考に施設運営者が設定しています。料金設定の見直しの必要性については、利用状況や周辺施設の料金などをふまえて継続的に検討します。
74	使用料金の値下げをお願いします		
75	夏場の花火(ゴミが残されている)	利用マナー	注意看板の設置や巡視によりマナー向上や迷惑行為の是正に努めているところですが、なかなか解消できず苦慮しています。問題がありましたら随時対応しますので、公園管理所または淀川河川事務所にご連絡をお願いします。
76	一部団体利用者以外は公園の存在が知られていないように思う。一般市民が使える公園に	広報	本公園の場所、アクセス、施設内容などについて、ホームページや案内板などによる情報発信の改善に努めます。
77	川辺に近い場所に「イバラ」が多く生えている。今のうちに何とかした方がよい	イバラ	島本地区公園整備計画案における親水空間の整備にあたっては、イバラを含め利用者の安全確保に必要な管理方法についてあらかじめ検討します。
78	親水空間内の歩いた川辺の辺りは野イバラがいたるところに茂っていた		

島本地区

	ご意見	項目	対応案
79	大きな木が生えている公園の下流は洪水の原因になる	河畔林	水際の樹木は川の流れの阻害になり、河川管理上問題があることから伐採を進めています。防犯性向上の点で推進のご意見がある一方で、野鳥等への配慮が必要とのご意見もいただいていますので、有識者等の意見をふまえつつ適切な実施に努めます。
80	樹木伐採の目的を明確にしてほしい		
81	樹木をほとんど切ってしまったので自然が減った。(木や鳥たち)		
82	樹木伐採により木陰、小鳥が減るのでは？		
83	昔は桑の実がとれていた		
84	安全面は着々と妥協せずアピールも(治水、安全性、スーパー堤防も必要なら)	治水	治水対策については、淀川水系河川整備計画に基づき、各区分毎の安全性や緊急性をふまえ優先度の高いところから実施しています。事業の必要性についてご理解いただけるよう努めます。
85	グラウンドゴルフ用に年2回程度水無瀬ゴルフ場を無料開放させるようにしてほしい	ゴルフ場	水無瀬ゴルフ場の運営については、治水や河川環境に支障のない範囲でゴルフ場運営者が決定しています。ご意見がありましたことは、ゴルフ場運営者にお伝えします。

※ 対応案は平成23年8月末現在の案です。地域協議会等の関係者調整、治水、環境等の技術的検討により変更となる可能性があります。

地区会議のご意見への対応案【大山崎地区の例】

	ご意見	項目	対応案
1	水遊びができればよい	水辺とのふれあい	淀川河川公園では、水辺環境保全・再生ゾーンにおいて、自然環境の保全・再生を図るために河川敷の切り下げを行うとともに、環境に配慮しつつ、散策や観察などを通じて自然とふれあえるゾーンとすることとしています。各地区の整備計画については、地域協議会等で段階的に検討を進めていきます。
2	親水空間整備。河川敷の自然保全(保護)		
3	ピオトープ?の水がない		
4	水辺における整備が必要では?		
5	川に近寄れない		
6	川岸へのスロープを整備する		
7	河川公園で水をイメージするが川全体から離れている		
8	川辺の有効利用不足		
9	小畑沿いの水辺環境保全、再生ゾーンに水辺と親しむ遊び場を設ける		
10	小学校で行われている自然学習(に利用できそう)な場に近付ける		
11	柵から外の雑種地の有効活用		
12	スポーツ団体利用は野球しか出来ていない。スポーツの裾野を広げることが重要では?	運動施設	これからの淀川の河川敷利用は、淀川水系河川整備計画に基づき、河川環境の保全・再生、川らしい利用の促進のため、運動施設など本来河川敷以外で利用する施設については縮小することを基本としています。今後は、淀川の自然とのふれあいや多目的な利用ができる広場の整備を進めていきますのでご理解をお願いします。
13	第二外環及びR478の高架下に全天候型のスポーツ施設を作れないか?		
14	多目的公園内にグラウンドゴルフ場の設置を要望する		
15	多目的利用ゾーンにも動植物、自然を考えたものを設ける	芝生広場	芝生広場の利用状況、管理状況をふまえて、環境に配慮しつつ利用しやすい広場への改善について、地域協議会等の意見をふまえながら検討を進めます。
16	多目的広場(グラウンド面)計画的な緑化		
17	一部芝生がはげていた所がある		
18	昼食時ブルーシートを使用していると思いますが、芝を植えて環境をよく		
19	多目的グラウンド(芝グラウンド)の整備が必要では?	案内板	公園の案内、地域の自然・歴史などの情報発信のための情報案内板等について、各地区の状況をふまえ、計画的に設置、更新を検討します。
20	公園一体をミュージアム。生態系の説明(樹木含む)		
21	残念石の説明がほしい		
22	公園内にマップ、掲示があったのか?	駐車場	大山崎地区は休日の駐車場利用者が多いため、周辺地域への影響をふまえてH22年に駐車場の拡大を行いました。淀川河川公園の駐車場については、河川環境の保全の観点から必要最小限の配置とする必要がありますので、利用状況等をふまえて適正な配置を検討します。
23	駐車スペースを広げて欲しい		

大山崎地区

	ご意見	項目	対応案
24	(下流域の)河川側にもトイレを設置できないか？	トイレ	三川合流部は河川敷が浸水する可能性が高く、トイレは洪水時に撤去が必要となりますので、治水の観点から必要最小限の設置としなければなりません。大山崎地区は車イス用トイレを含め、4箇所のトイレを設置していますので追加の予定はありません。トイレの水洗化については、利用者の快適性を高める取り組みとして、設置が可能な地区について検討を進めていきます。
25	トイレの水洗化		
26	遊具の設置や遊び心を豊かな整備をしたほうがよい	遊具	これからの淀川河川公園では、河川環境の保全・再生、川らしい利用の促進のため、運動施設など本来河川敷以外で利用する施設については縮小することを基本としています。また、大型の遊具は洪水時の支障となります。淀川を活かした自然とのふれあいや多目的な利用ができる広場で工夫して遊んでいただけるような公園づくりを目指します。
27	休憩する場所(日よけ)など必要。	日陰	河川敷の公園であり、屋根付の施設は洪水時に撤去が必要になります。このため、日陰確保の取り組みとして、河川管理上支障のない範囲で樹木の植栽を進めています。
28	桜並木(があればよい)	桜	これからの淀川河川公園では、河川環境の保全・再生を進める観点から、緑陰のための植樹等を除き、本来河川敷に生育しない植物の導入は行わないこととしています。また、河川敷では洪水時の支障とならないよう、植えられる本数は限られています。桜については、毛虫が発生しやすく農薬散布が避けられないことから、河川敷での植樹は困難です。ご理解をお願いします。
29	大山崎側にも桜並木がほしい		
30	飲料水のみ自動販売機があつてよい	自販機	河川敷での自動販売機の設置は、洪水時の支障となるため設置者が撤去しなければならないこと、自動販売機のために堤防に電気配線を行う必要があること等から困難と考えています。
31	アスファルト道路の目的がわからない(緊急用河川敷道路のこと)	緊急河川敷道路	緊急河川敷道路は、阪神・淡路大震災で陸上交通が寸断されたことをふまえて、淀川で緊急輸送物資や負傷者の代替輸送路を確保することを目的に整備を進めています。河川と利用者の保護のため、一般車両の通行は制限しています。ご理解をお願いします。
32	多目的ゾーンにベンチを多くするべき	その他施設	河川敷の公園であり、施設の設置は洪水時の支障になることから必要最小限に留める必要があります。各地区の利用状況をふまえて、川らしい利用の促進の観点から、必要な施設の整備・再整備を検討します。
33	高齢者、幼児向けの施設整備(現在は若い人向けの公園に思える)		
34	現在の公園設置物の使用目的が不明確である		

大山崎地区

	ご意見	項目	対応案
35	現状、河川敷内に民地があります。買取は不可能なのか？	追加開園	未開園区域の整備については、淀川河川公園基本計画の整備及び管理運営方針に基づき、自然環境や周辺地域、公園利用、河川事業の状況などをふまえて段階的に進めていきます。整備にあたっては、計画段階から地域協議会等を通じて利用者や地域住民の意見をふまえながら検討を進めます。
36	竹林の買い上げ(国交省による)		
37	竹藪を買入して、町・市民の憩いの場とする		
38	多目的利用ゾーン西側の竹やぶを買収し竹やぶ整理する		
39	第二外環状道路より下流への公園の拡大(小泉川まで)		
40	出水期に水につかることと水辺環境保全・再生ゾーン(利用者の安全確保は?)	水辺利用の安全	河川に立地する公園として、利用者には一定の自己責任が伴うという原則のもとで、安全で快適に利用できる整備と管理、利用ルールについて、地域協議会等の意見をふまえながら検討を進めます。
41	公園内の危険箇所は表示をするべき		
42	バーベキューゾーンと野球場の間が危険ではないか? 安心、安全か?	運動利用の安全	野球場とバーベキューエリアの距離は20m確保されており、野外体育施設の建設方針に適合しています。また、現時点では事故も報告されていません。なお、これからの淀川河川公園では、河川環境の保全・再生、川らしい利用の促進のため、運動施設など本来河川敷以外で利用する施設については縮小することを基本としています。本地区の再整備の際はより安全な施設配置を検討します。
43	バーベキューゾーンと野球ゾーン間の処理		
44	公園に着くまでの道、ガードレール等、整備渋滞が心配。	アクセス	淀川河川公園へのアクセスはまちと淀川をつなぎ、まちづくりとの連携を図るうえで重要と考えています。各地区のアクセスで問題がある箇所については、改善方法について沿川自治体など関係機関と協議します。
45	公園までの道(が問題あり)		
46	堤防の道幅がせまい。公園を出て堤防を左折できれば一方通行化できる。以前は左折できたと思う		
47	公園に行くまでの道が狭い		
48	河川公園の駐車場は広いが堤防中段を道路にするべき		
49	出入路の整備が必要		
50	堤防道の整地。一方通行にすればすみやかになる		
51	公園管理外かも知れないがアクセスが悪い。道路幅を広げる必要がある		
52	ダイハツ側からしかアクセスできない		
53	野球少年が自転車で道路を走るの危険		
54	自転車及び歩道が必要		
55	公園や駐車場は整備されているが道路アクセスがわるい		
56	国道からのアクセス整備、進入路へのサイン		
57	他方面への入出路、管理道路及び緊急路利用(但し交通安全面も考え)	淀川河川公園へのアクセスはまちと淀川をつなぎ、まちづくりとの連携を図るうえで重要と考えています。各地区のアクセスで問題がある箇所については、改善方法について沿川自治体など関係機関と協議します。(再掲)	

大山崎地区

	ご意見	項目	対応案
58	バーベキュー、ガレージの有料化	バーベキュー 等有料化	駐車場やバーベキューの有料化については、河川敷でその料金徴収を実施するための施設整備やスタッフの常駐が必要になります。また、河川敷の公園であることから、コインパーキングなどの無人化施設の設置は洪水時の支障となるため困難です。バーベキューの過密利用やゴミ問題が発生する地区については、エリア設定の見直しなど改善策を検討します。
59	ガレージ有料化、バーベキュー		
60	バーベキュー、有料化		
61	国道171号線より河川公園へ行く大きい看板の設置を要する	広報	本公園の場所、アクセス、施設内容などについて、ホームページや案内板などによる情報発信の改善に努めます。
62	ダイハツ工場より見て国土交通省淀川河川公園がわかりません。		
63	看板＝広告効果。車で利用が多いそうですが「目」につきやすい看板があれば広告にもなるのでは？		
64	淀川河川、大山崎町の区画と別とは知らず。広報が足りないのでは？		
65	公園のPR不足		
66	もっと利用していただくための河川公園PR		
67	淀川河川、大山崎町の区画と別とは知らず。広報が足りないのでは？		
68	公園のPR不足		
69	地域の人や企業や行政が集まりフェスティバルの開催を更に行っていくべき	利用促進	大山崎地区では毎年乙訓水辺フェスティバルを開催していただいています。今後も地域交流の場等としてより多くの方に公園を活用していただきたいと考えています。地域行事等の公共性・公益性の高い取り組みについては、事前調整により優先予約が可能ですので、ご検討の際は公園サービスセンターまたは淀川河川事務所までお問い合わせください。
70	ウィークデーの利用度が低い		
71	野球場、フットサル、お借りするのに苦勞。限られている。	施設利用	淀川河川公園は、大阪府、京都府をはじめとして広く近畿地方にお住まいの方が利用される公園として整備、管理運営しています。このため、料金や予約方法は公平性の観点から、統一的な運用を行っていますのでご理解をお願いします。地域行事等の公共性・公益性の高い取り組みについては、事前調整により優先予約が可能ですので、鳥飼サービスセンターまでお問い合わせください。
72	地元スポーツ団体を優先的に使用できる週をつくれませんか？		
73	野球場などの申請を町体育館等で受付できるように		
74	受付事務所がなぜ鳥飼サービスセンターなのか？	受付場所	淀川河川公園は、現在サービスセンターが3箇所のため、鳥飼サービスセンターでの受付となりますことにご理解をお願いします。現在、背割堤・三川合流部で計画中の新たなサービスセンターで施設予約ができるよう検討します。
75	樹木の管理	施設管理	淀川河川公園の管理については、通常の河川敷と比較して除草や清掃を多く行い、利用者の安全、サービス水準を確保しています。一方、財政状況をふまえた維持管理費の縮減も必要となっていますので、費用を抑えながら一定の管理水準を確保できるよう努めていきます。
76	広場、グラウンド、及び多目的広場、道路の草刈り		
77	草刈回数が減り、人が近づきにくい環境となり、多目的利用なされるだろうか？		
78	水道、トイレの管理		

大山崎地区

	ご意見	項目	対応案
79	最低限の医薬品はあるのか？	救急	公園管理所に救急箱を常備しています。どなたでもご利用いただけますので管理員にお声かけください。
80	使用時間が短いと思う。夏場は19:00まで	開園時間	6月1日から8月31日の期間は19時まで開園しています。
81	利用者増加に伴いゴミの放置が心配される。どのように対応？	迷惑行為	ゴミの放置などの迷惑行為については、巡視により是正に努めているところですが、なかなか解消できず苦慮しています。問題がありましたら随時対応しますので、公園管理所または淀川河川事務所にご連絡をお願いします。
82	畑の水、不法使用禁止		
83	犬のフン		
84	ホームレスの住処	ホームレス	淀川ではホームレスは近年減少傾向です。引き続き洪水等による危険性を周知するとともに、「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法」に基づき、自治体福祉部局等と連携し、自立支援に向けた情報交換等の対応を図ります。
85	ホームレス		
86	対岸の河川公園との統一した整備	三川合流	三川合流域の地域の活性化については、三川合流域地域づくり協議会において、京都府、沿川自治体と連携したハード、ソフトの取り組みを検討・実施しています。淀川河川公園で実施が必要な取り組みについて、今後も継続的に検討していきます。
87	三川合流全体としての量感を考慮した整備		
88	以前木曾三川公園を視察したが地元の観光などを考えた場合多くの施設が淀川三川の活性化につながるか？		
89	本公園のみならず町営公園も同時に整備ができないものか	町営公園	河川敷で市町村などが占用するグラウンドや公園についても、河川環境の保全・再生、川らしい利用の促進のため、運動施設など本来河川敷以外で利用する施設については縮小することを基本としています。占有者と協議しながら、各地域の状況、利用状況等をふまえて整備を検討していきます。
90	桂川に橋(を架けてほしい)	架橋	橋梁は洪水時の支障となる可能性があるため、設置には慎重な検討が必要です。ご意見は関係自治体等と共有し、必要性や効果、費用、設置・管理者などについて意見交換します。
91	対岸に渡り橋をかけてほしい		
92	サイクリングやハイキングで八幡市側へ渡る橋などがあれば良いな		
93	小畑川だけでも沈下橋		
94	小泉川に橋を架け、国営公園と町占用公園との連絡路を整備(車両通行可)		
95	自然の生態系をくずさず自然災害が起こらないようにするには管轄は分かれていてよいのか？	管轄	淀川、桂川等の自然環境、災害対策については、淀川水系河川整備計画に基づき、淀川河川公園も含めて総合的、一体的な取り組みを進めています。
96	桂川ワークショップのことを地区会議メンバーへの情報提供	その他	桂川下流域ワークショップの取り組みについて、参考資料として大山崎地区会議のメンバーに情報提供します。

※ 対応案は平成23年8月末現在の案です。地域協議会等の関係者調整、治水、環境等の技術的検討により変更となる可能性があります。